

阪南市へのACCESS

電車	大阪市内(なんば駅)	南海線	約37分	尾崎駅
	和歌山市駅	南海線	約20分	尾崎駅
	大阪市内(天王寺駅)	JR阪和線	約50分	和泉鳥取駅
飛行機	東京(羽田空港)	約60分	関西国際空港	尾崎駅
	国内線:15都市 国際線:15カ国以上	電車:空港線・南海線 約17分 バス:空港連絡橋 約20分		尾崎駅
車	和歌山市内		約20分	阪南市内
	大阪市内	阪神高速	約50分	阪南市内
	神戸市内	阪神高速	約80分	阪南市内

阪南市 Data

(2023年1月末時点)

- 人口 51,452人
- 世帯数 24,116世帯
- 子育て 子育て総合支援センター、子育て世代包括支援センター、赤ちゃんの駅 他
- 医療 総合病院、小児科、産婦人科 他
- 教育 地域学習(海洋教育・環境教育など)、英語教育、SDGs教育、ICT教育 他
- 買い物 スーパー、コンビニ、ホームセンター、産直市場、お菓子工場 他
- 交通 路線バス、コミュニティバス、タクシー、電車、レンタサイクル 他

発行 2023年3月
阪南市未来創生部シティプロモーション推進課
 〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町35番地の1
 電話: 072-471-5678(代) 072-489-4510(直通)

今ハジメル。 未来ツナガル。



ESDシリーズ SDGsって何?

なぜ、SDGsが必要なのか?

感染症の世界的大流行や紛争、途上国の貧困や気候変動、女性やマイノリティへの差別など、世界は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。

このままでは、人類がこの地球上で暮らし続けることができなくなると心配されており、子どもたちの未来のためにも、世界中のみんなが問題の解決に向けて行動を起こさなければなりません。

そのため、2015年の国連サミットにおいて、すべての加盟国が合意して、**2030年までに達成すべき具体的な目標**が立てられました。



それが、「**持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)**」です。

一人ひとりの行動が求められています

SDGsは、私たちみんなが、ひとつしかないこの地球で暮らし続けられる「持続可能な世界」を実現するために進むべき道を示したものであり、17の目標とそれにもとづく169の具体的な目標(ターゲット)が設定されています。

様々な社会の課題とSDGsとのつながりを知り、「持続可能な世界を築くためには、何をしたらいいだろう?」「SDGsの達成のために、自分はどんなことができるだろう?」と、一人ひとり、みんなが考え、行動することが大切です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

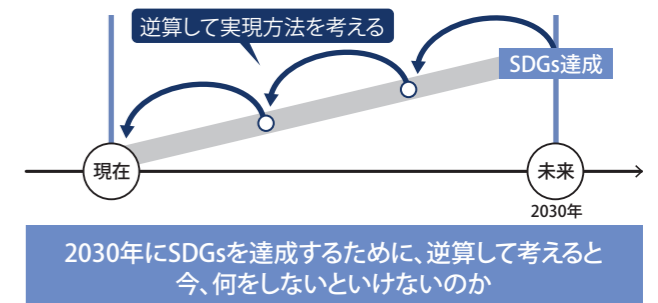


SDGs達成に向けた大切な考え方

めざす状態(ゴール)を定め、そこを起点に「どうすればできるか」を考えること(バックカスティング思考)が、SDGs達成に向けた大切な考え方です。

持続可能な未来のために、今、何ができるのかを考えることがSDGsの第一歩となります。

バックカスティング思考のイメージ

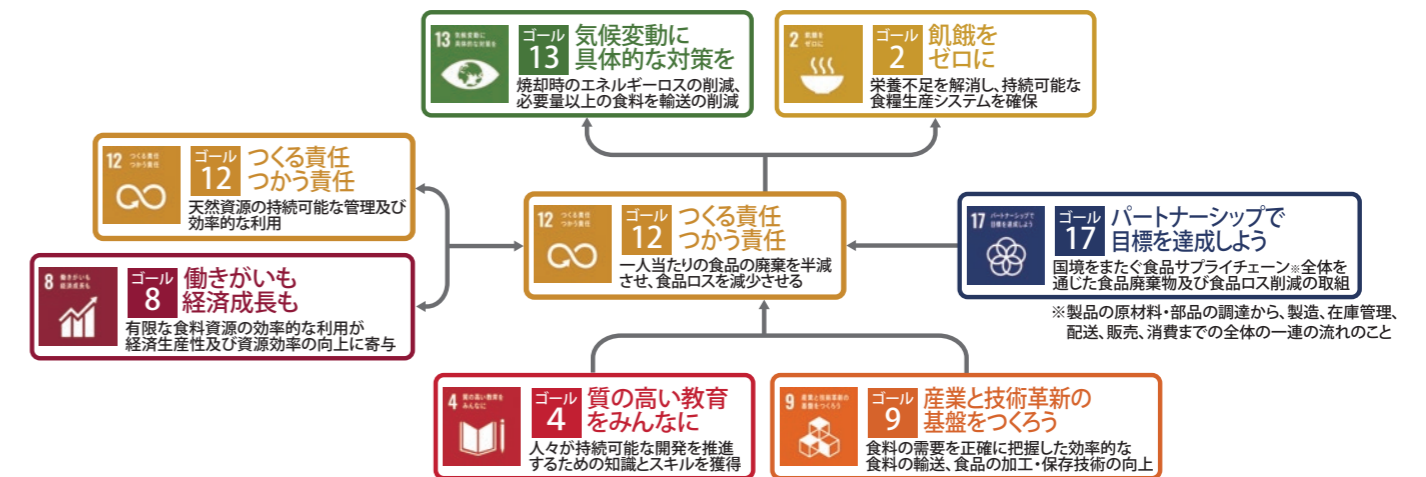


1つの取組が複数のゴールに関わっている

17つのゴールは、相互に関連しており、不可分なものであると言われています。

例えば、ゴール12に関する「食品ロス削減に向けた取組」は、その他のゴールとも密接に関係しています。

例:食品ロスの問題について考える (環境省資料を基に作成)



気軽にできるSDGsについて、一緒に学びましょう!

気軽にできる小さな行動も、様々なゴールに関連してSDGsの達成につながっています。このパンフレットで、SDGsについて学び、SDGsの視点で、日々の行動を見直してみましょう。

例えば...

- 買物袋を持参して、プラスチックごみを減らす
- 消費期限切れに注意し、食品ロスを減らす
- 遊び終わったおもちゃを、捨てずにリサイクルする
- 要らないものは買わない
- 自分で野菜を育ててみる



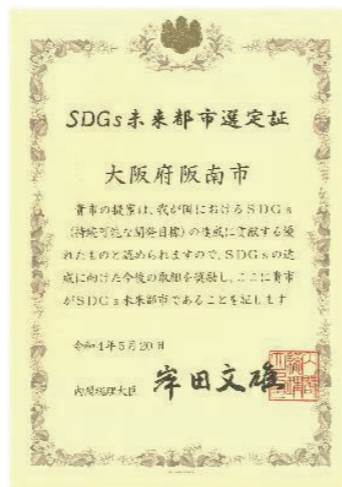
SDGs未来都市、自治体SDGsモデル事業に選定

持続可能なまちづくりや地域活性化に向けて取組を推進するに当たっては、SDGsの理念に沿って進めることにより、政策の全体最適化、地域課題解決の加速化という相乗効果が期待でき、地方創生の取組の一層の充実・深化につなげることができます。

そのため、日本政府では、SDGsを原動力とした地方創生を推進しており、2018年から「SDGs未来都市」を選定しています。

SDGs未来都市は、地域のステークホルダーと連携し、SDGs達成に向けて戦略的に取り組んでいる地域・都市を選定するもので、その中でも特に先導的な取り組みを「自治体SDGsモデル事業」として選定し、資金面での支援を行うことなどによりモデル事例の形成につなげています。

阪南市は、2022(令和4)年5月20日に「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」の両方に選定されました。

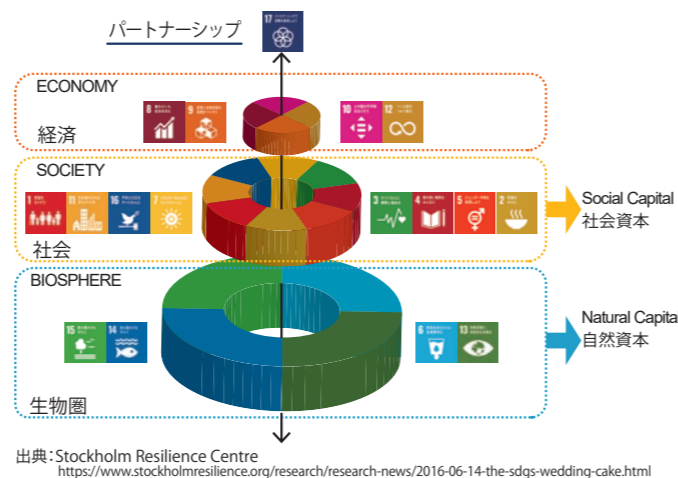


阪南市におけるSDGsの取組のポイント

17のゴールを階層化したとき、自然資本や環境は他のゴールの土台となります。

自然資本や環境から生み出される様々なものを活かすことで、私たちの社会は成り立っており、それらを持続可能なものにしなければ、他のゴールの達成は望めません。

阪南市では、古来より受け継がれてきた里山・里海等の豊かな地域資源を活かした取組を展開することで、地域経済や社会の活性化につなげ、相乗効果を生み出しながら、持続可能なまちづくりを進めていきます。



出典:Stockholm Resilience Centre
https://www.stockholmresilience.org/research/research-news/2016-06-14-the-sdgs-wedding-cake.html

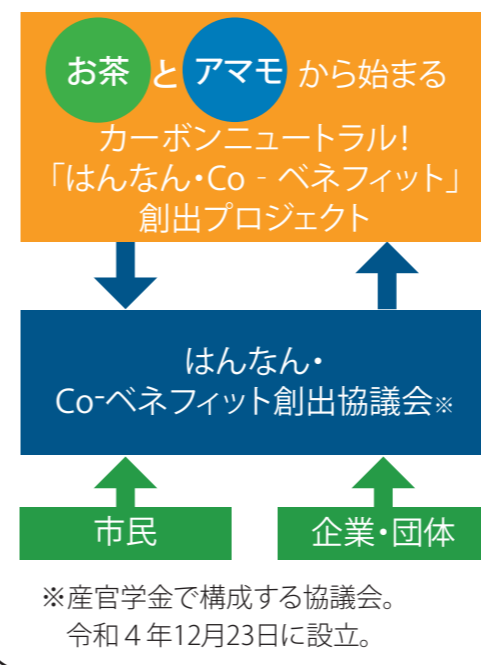
阪南市における自治体SDGsモデル事業の概要

共創による新しい地域価値の創造

カーボンニュートラルの先にあるCo-ベネフィット型未来都市に向けて

統合的取組

経済・社会・環境の三つの側面に対して、相乗効果を生み出すことのできる統合的取組を実施することで、生み出された新しい価値をもとに、地域課題の解決や地域の活性化につなげていきます。



経済 デジタルを軸とした域内交流の循環

- 都市圏向け地魚販路拡大・サイバーマルシェ
- テレワークステーションなどを活用した関係・交流人口拡大推進事業
- 域内活性化を目的とするESG金融プラットフォームの構築
- 大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」プログラムを活用した実証実験



社会 健康寿命の延伸・地域コミュニティの充実

- お茶を軸にした健康づくり事業
- 企業連携によるフレイル対策、認知症予防など健康寿命延伸を目的とした検証研究事業
- 健康増進メニューの開発・食品ロス削減のための食育事業の展開
- 関西国際空港に近接する立地を活かした定住・移住の促進



環境 カーボンニュートラルの実現・農地の保全・魚庭の海の再生

- ゼロカーボンシティ宣言の取組推進
- 里山:お茶グリーンカーボン推進事業
- 里海:アマモ場再生ブルーカーボン推進事業
- アマモ場再生の実証事業
- 環境保全事業×海洋教育などの環境教育推進



伊藤園

阪南市×伊藤園「お茶のある暮らし」プロジェクト

お茶



阪南市をフィールドに、遊休農地などを活用し、お茶の苗木を植樹し、茶畑の運営に取り組んでいます。

株式会社伊藤園の支援のもと、茶摘み、茶づくりなどには、市民の皆さんにも関わりをもっていただき、自分たちの手で育て、出来上がる喜びを共有することで、地域コミュニティの創出を図ります。

また、阪南市産茶葉の他市には無い新たな価値(地域ブランド)を確立することで、体験観光など交流人口拡大、SDGsの普及啓発、シティプロモーションを更に推進することを目的としています。



お茶の飲用習慣の充実による市民の健康づくり(ウェルビーイング)に関する疫学研究についても着手する予定です。これまで、植樹イベントやお茶セミナーなどを実施しています。



アマモ

アマモ場の再生・ブルーカーボンプロジェクト

阪南市の沿岸域には、大阪湾では数少ないアマモの自生地があり、その保全・再生活動を、地元漁協や企業、市民、学校が連携して行っています。

また、この活動は、市内小学校の学習プログラムの一環となっています。花枝採取・選別・養生、種子選別、苗床づくり、種まき、移植まで、周年を通じたアマモの保全・再生活動が展開されています。

漁業関係者や海で活動する様々な人々との交流を通じ、子どもたちが海と親しみ、触れあい、海を身近なものとするプログラムとなっています。



～魚庭の海・阪南の海の再生～
「海のゆりかご再生活動」と称して、アマモ場再生活動を通じた海の環境保全やブルーカーボンによるCO₂の削減を推進しています。

漁師鮮度



阪南市における

SDGs推進に向けた取組

「誰も一人ぼっちにしない、誰も排除しないまち」



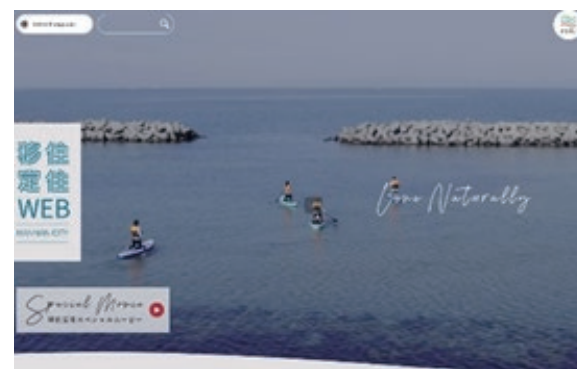
認知症当事者が活躍できる居場所 マスターズCafe

認知症のある方や介護者がウエイターを担い、カフェ参加者と会話を通じて楽しく交流する生きがい活動の場である「マスターズCafe」の取組を支えあいの場づくりのお手本として、全国・世界に展開できるよう発信しています。



移住定住の促進

移住の受入体制を整備し、移住促進につなげています。
また、転出を抑制し、人口の定着を図るため、市民が愛着と誇りを持てるまちづくりの企画・活動を推進しています。



阪南市の取組はこちら
市ウェブサイト ▶▶▶



企業連携による職員向けSDGs研修会

職員一人ひとりがSDGsの趣旨を十分に理解した上で、多様なステークホルダーとの連携し、経済・社会・環境の三側面の調和や統合的な向上を図ることを目的に実施しています。



阪南セブンの海の森活動

「山と森」と「海の森」の二つの視点から「CO2削減」と「豊かな自然環境の再生」を進めるため、一般社団法人セブン-イレブン記念財団と協定を結び、西鳥取漁港西海岸、下荘漁港西海岸、尾崎港西海岸を活動場所に、アマモの保護保全活動と沿岸清掃活動を実施しています。



阪南市SDGs推進プロデューサーとの連携

大阪府公民戦略連携デスクエグゼクティブディレクターとして、企業・大学と行政のマッチングを行う公民連携による地域課題の解決に取り組んでいる吉澤正登氏を阪南市SDGs推進プロデューサーに迎えました。市制施行30周年記念事業では、SDGsセミナーを実施していただきました。



チョイソコはんなん

地域の利便性向上に向けた取組みとして、阪南市の一部の地域を対象にデマンドタクシー配車システム『チョイソコはんなん』の実証実験を行いました。

主に高齢者のお出かけ支援、健康増進に繋がる取組を行うことで、持続可能な地域社会の実現をめざしています。



小学校SDGs出前講座

SDGsの達成に貢献するため、企業等と連携して市内小学生に向けたSDGs出前授業を行っています。

日々の暮らしの中でSDGsに取り組み、持続可能な社会の担い手でもある子どもたちと一緒に学びを深めるため実施しています。



海、山、里を体感! まると阪南の魅力発見!SDGsイベント

阪南市の豊かな海、山、里の自然を一人でも多くの方に知って、訪れ、楽しみ、体感できるイベントを実施しました。



海洋教育パイオニアスクールプログラム

海洋教育パイオニアスクールプログラムでは、海と触れ合い、海を学ぶことで地域の環境に関心を持つとともに、地域の人と共に地域で活動を行い、地域の一員としての自覚を育むことを目的として実施しています。

阪南市の取組はこちら
市ウェブサイト ▶▶▶



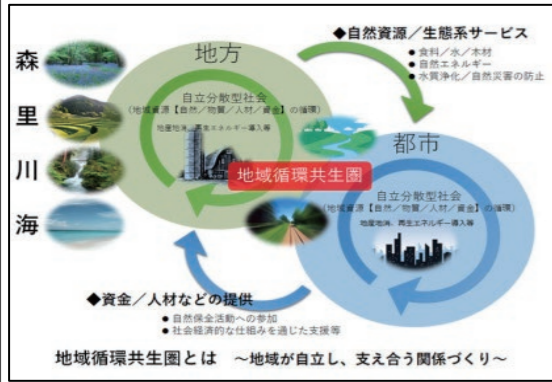
G20大阪サミット配偶者プログラム

令和元年6月に開催されたG20大阪サミット配偶者プログラム「海は輝くのちの源」をテーマにしたシンポジウムで阪南市の小学校の代表生徒が海洋教育の取組を発表しました。



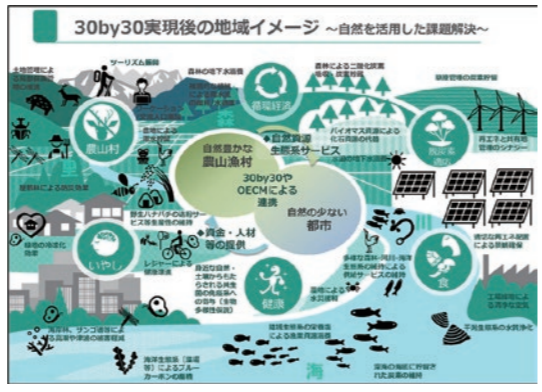
環境省ローカルSDGs (地域循環共生圏づくりプラットフォーム)実践地域に登録

阪南市の豊かな地域資源（里海・里山）を活用し、地域が支えあう「誰も一人ぼっちにしない、誰も排除しない」持続可能な協働・共創のまちづくりを行うために登録し、多様なステークホルダーと連携した取組を展開しています。



生物多様性のための30by30アライアンスに参画

2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標である「30by30アライアンス」に参画しています。



阪南市ゼロカーボンシティ宣言とブルーカーボンの推進

2050年までに市内の二酸化炭素排出量の実質ゼロをめざす「ゼロカーボンシティ」へ挑戦をすることを表明。また、「アマモ」のブルーカーボン・オフセット認証として、「JBE(ジャパブルーエコノミー技術研究組合)」のJブルークレジット制度にて認証を獲得するなど、海の環境保全、資源活用に積極的に取り組んでいます。



全国アマモサミット2018 in 阪南

阪南市は、海・山・里が近接し、これらを支える人々が暮らすまちです。「アマモ」や「アマモ場」を象徴的なキーワードとして、海の自然再生・保全をめざしている全国的な大会を開催しました。



泉州美食EXPO

学校法人村川学園大阪調理製菓専門学校を中心に、企業・行政・トップシェフと連携し、「食で美食の街」を創りあげていく取組「泉州美食EXPO」に阪南市も参画しています。



「TEAM EXPO 2025」プログラム

阪南市では、大阪・関西万博機運醸成のため、「TEAM EXPO 2025」プログラムの共創パートナーとして、企業・団体等が実施する共創チャレンジの創出・支援を行うとともに、企業や団体等と一緒に共創チャレンジに取り組んでいます。



阪南市の取組はこちら
市ウェブサイト ▶▶▶



はんなんプラスチックごみゼロ宣言

阪南市の自然あふれる海・川の環境を継承するためには、より一層のプラスチックごみの削減に取り組む必要があると考え、使い捨てプラスチックの削減やポイ捨ての防止に向け自ら率先して取り組むことを宣言。子どもたちも主体的に取り組んでいます。



美食文化を発信するブランド「はんなんKUU(くう)」

阪南市の豊かな自然の恵みから得られる新鮮な魚介類や農産物など、滋味にあふれた水と土から生まれた美食文化を発信するため、統一ブランドとして「はんなんKUU」を創設。「はんなん産業フェア」などのイベントにおいてPRを実施しています。



ゴール1. 貧困をなくそう

1 貧困をなくそう



あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

世界で起こっていること

6億人以上が、「極度にまずしい」暮らしをしています。

貧困とは、欲しいものが買えないということだけではありません。食べ物や水が手に入らない貧困、教育や医療を受けることができない貧困、差別のため社会参加が自由にできない貧困など、様々な貧困があります。

地球上のあらゆる形の貧困をなくすことが求められています。

目標を達成するために

世界で取り組む主な内容

- 「極度の貧困状態」をあらゆる場所でなくします。
- 貧しい人を保護する社会保障制度を整えます。
- 貧しい人も、生きていくために必要なサービスを受けられるようにします。

＼ 私たちに何ができるの？ /

- 募金活動に参加する
- 地域でのボランティア活動に参加する
- フェアトレード※商品を購入する



※ 発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することを通じ、立場の弱い途上国の生産者や労働者の生活改善と自立をめざす「貿易のしくみ」のこと。

ゴール2. 飢餓をゼロに

2 飢餓をゼロに



飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

世界で起こっていること

10人に1人が、飢餓に苦しんでおり、**約3人に1人**が十分な食料を定期的に得られていません。

世界には、長期間にわたり十分な食事ができず、健康的で活動的な生活を送るためのエネルギーや栄養を摂取できない人が約8億人いるといわれています。

ただ単純に食料生産量を増やせばよいというわけではなく、土壌や海洋、生物多様性といった環境に配慮しながら、災害にも対応できる、持続可能な農業システムへの変革が求められています。

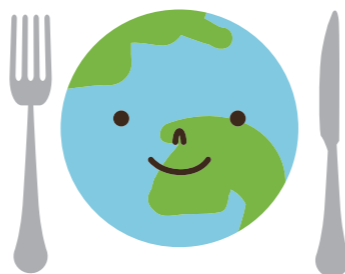
目標を達成するために

世界で取り組む主な内容

- すべての人が1年中安全で栄養のある食料を得られるようにします。
- 小規模農家の生産性と所得を倍増します。
- 気候変動や干ばつ、洪水などの災害に強い農業を実践します。

＼ 私たちに何ができるの？ /

- 地元で生産された食材を選ぶ(地産地消)
- 30・10運動※1に取り組む
- 食べきれない食品をフードドライブ※2に寄附する



ゴール3. すべての人に健康と福祉を

3 すべての人に健康と福祉を



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

世界で起こっていること

2,270万人の子どもたちが、基本的なワクチンを接種できていません。

海外では、医療制度が整っていなかったり、医療費がすべて自己負担であったりと、必要であっても十分な治療が受けられない人が大勢います。

日本は、医療体制や保険制度が充実していますが、今後さらに進展する高齢社会においても、充実した医療体制を確保するためには、一人ひとりの健康寿命を延ばすことが重要となります。

目標を達成するために

世界で取り組む主な内容

- 世界の妊産婦の死亡率を10万人あたり70人未満に減らします。
- 新生児や5歳未満の子どもの予防可能な死亡をなくします。
- すべての人が質の高い医療を受け、安全な医薬品やワクチンを得られるようにします。

＼ 私たちに何ができるの？ /

- 健康診断、検診を定期的にする
- 運動の習慣化、食生活の改善などに取り組む
- 対策を徹底し、感染症にかからないようにする



ゴール4. 質の高い教育をみんなに

4 質の高い教育をみんなに



すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

世界で起こっていること

小学校に通う年齢でありながら、通えない子どもが**6,000万人以上**いるといわれています。

15歳以上で読み書きのできない人は7億人以上もいて、うち3分の2が女性です。また、先進国の教育環境は比較的整備されていますが、相対的貧困に格差、不登校、いじめなど改善すべき課題も少なくありません。

すべての人があらゆるレベルで公平に教育や職業訓練を受けられるようにすることは、今も大きな課題となっています。

目標を達成するために

世界で取り組む主な内容

- すべての子どもが、無償で質の高い初等・中等教育を受けられるようにします。
- 性別、障がいの有無、民族などに関係なく、誰でもあらゆるレベルの教育や職業訓練を受けられるようにします。
- 仕事や起業に必要なスキルなどを備えた若者や成人の割合を増加させます。

＼ 私たちに何ができるの？ /

- 学習支援ボランティアなどに参加する
- 使わなくなった学用品を寄附する
- いじめや差別をしない、させない



※1 宴会の最初の30分と最後の10分は自席で料理を楽しんで、食べ残しを減らす運動のこと
 ※2 家庭で余っている食品を持ち寄り、フードバンクや福祉施設などに寄附すること

ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう



ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児が自分の能力を発揮できる機会を創出する



世界で起きていること

各国議会における女性の割合(世界平均)は、約**26.2%**となっています。

世界では、女性というだけで、大人になる前に結婚を強いられたり、家事を押しつけられたりするの当たり前という国もあります。

先進国においても、雇用、教育、政治、経済への意思決定の参加など、様々な面で女性差別が見られます。

ジェンダーの平等は、基本的人権であるとともに、平和で豊かで持続可能な世界を実現するために必要な基盤でもあります。

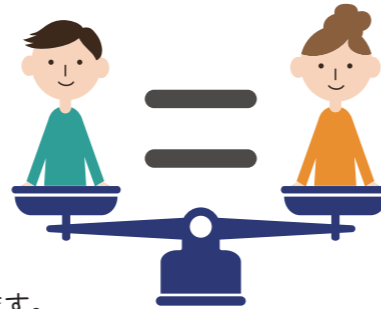
目標を達成するために

世界で取り組む主要内容

- 女性や女児に対するあらゆる差別をなくします。
- 無報酬の育児や介護、家事労働を認めて評価します。
- 政治、経済、公共分野でも、女性が参加できる機会を男性と平等にします。

＼ 私たちに何ができるの？ ＼

- ジェンダー平等について理解し、性による先入観をなくす
- 家庭での役割を見直す
- 女性が活躍できるような環境を整備する



ゴール6. 安全な水とトイレを世界中に



すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



世界で起きていること

20億人が安全に管理された飲用水を利用できていません。

経済の悪化やインフラの不備によって、水不足や劣悪な衛生状況にある地域が多く存在します。それに関連する疾病で命を失う人は、毎年数百万人にもなります。しかも、その大半は子どもです。

今後、人口増加や気候変動が進むと事態はさらに深刻化し、国連では2050年までに4人に1人以上が水不足の国で暮らすと予測しています。

目標を達成するために

世界で取り組む主要内容

- すべての人が安全で安価な飲料水を得られるようにします。
- すべての人が、適切な下水施設や衛生施設を使えるようにします。
- 水の利用効率を改善し、水不足に悩む人々を大幅に減少させます。

＼ 私たちに何ができるの？ ＼

- 水の大切さを考える
- お風呂やトイレなど、水の無駄使いを意識する
- お皿の汚れはふき取ってから洗う
- 下水道への接続を行う



ゴール7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに



すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する



世界で起きていること

7億人以上が電気を使えない生活をしているといわれています。

便利な生活を支えるエネルギー。すべての人がエネルギーを使うようにするには、さらに大量のエネルギーをつくりだす必要があります。

一方で、それによって二酸化炭素が増大し、気候変動に影響を与えるかもしれません。そのため、地球環境に負荷の小さい、クリーンで持続可能なエネルギー(再生可能エネルギー*)が求められています。

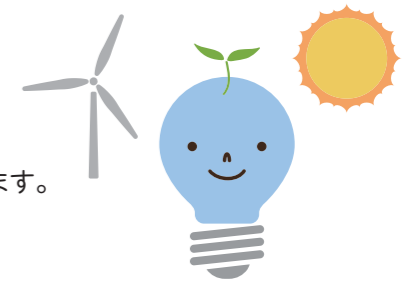
目標を達成するために

世界で取り組む主要内容

- すべての人が、安価で信頼できる現代的エネルギーを使えるようにします。
- 再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大します。
- 世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増します。

＼ 私たちに何ができるの？ ＼

- 未来のエネルギーについて考える
- コンセントを抜いたり、主電源をこまめに切る
- アイドリングストップを心がける
- できるだけ公共交通機関を利用する



* 資源に限りのある石油や石炭、天然ガスなどの化石エネルギーとは異なり、太陽光や風力、地熱といった自然界に存在し、繰り返し利用できるエネルギーのこと。

ゴール8. 働きがいも経済成長も



包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の安全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する



世界で起きていること

仕事に就いているにもかかわらず、貧困から抜け出せない人が**6.3億人**以上います。

世界では、女性や移民、障がいのある人など社会的な立場の弱い人は、不当な賃金や労働環境を強いられることがあります。

持続可能な経済成長を実現していくためには、誰かの生活を犠牲にした経済成長ではなく、すべての人が働きがいのある人間らしい仕事の機会を得られ、不当な労働のない経済・社会の仕組みに改善する必要があります。

目標を達成するために

世界で取り組む主要内容

- 天然資源を大切にし、一人当たりの経済成長率を維持します。
- すべての人が、働きがいのある人間らしい仕事をできるようにします。
- すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を整備します。

＼ 私たちに何ができるの？ ＼

- ワークライフバランスを考える
- フェアトレード商品を購入する
- ESG投資*をする



*「環境(Environment)」「社会(Social)」「ガバナンス(Governance)」に対する企業の取組を重視して投資すること。

ゴール9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及び技術革新の推進を図る

世界で起こっていること 約**29億人**の人びとが、インターネットにアクセスできません。

インフラ※は日々の生活に欠かせないため、たとえ災害が生じてもすぐに復旧できるような強いインフラ整備が必要です。また途上国にとっては、インフラは新しい産業の立ち上げに欠かせません。しかし、資源を浪費するような産業が立ち上がると、資源の枯渇や環境破壊などの問題が生じてしまいます。インフラ整備と並行して、資源を効率的に使えるような技術革新が求められています。

目標を達成するために

世界で取り組む主要内容

- 安価で公平に利用できる、質が高く、持続可能で強いインフラを開発します。
- すべての国の産業で科学研究を推進し、技術能力を向上させます。
- 途上国でもインターネットを利用できるようにします。

＼ 私たちに何ができるの？ /

- 地域のインフラの状況について理解する
- 環境に配慮した産業や技術を調べる
- 災害復旧などの募金をする



※ インフラストラクチャーの略。道路、鉄道、水道、電気、インターネットなど暮らしの基盤となる施設のこと。

ゴール10. 人や国の不平等をなくそう

10 人や国の不平等をなくそう

各国内及び各国間の不平等を是正する

世界で起こっていること 世界のもっとも豊かな**1%**の人が世界全体の富の約**33%**を持っていました。(2017年)

生まれた国、人種、民族、宗教、性別、障がいの有無など、本人に責任がないにもかかわらず、不平等な扱いを受けている人がいます。また、コロナ禍において、国家間の所得不平等は拡大しており、貧困対策も停滞しています。

貧しい人の収入の増加や弱い立場の人の差別を是正し、国内や国と国との間での不平等や経済格差をなくすことが必要です。

目標を達成するために

世界で取り組む主要内容

- 低所得者の所得成長率が、その国の平均成長率を上回るようにします。
- 差別的な法律、政策、習慣をなくします。
- 法律、政策などによって、機会や成果の不平等を是正します。

＼ 私たちに何ができるの？ /

- 国や人種、性別、障がいの有無などそれぞれの違いを認め、理解する
- 手話、点訳、要約筆記等に興味を持つ



ゴール11. 住み続けられるまちづくりを

11 住み続けられるまちづくりを

包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する

世界で起こっていること 世界人口の**約半数**は、都市に暮らしており、2050年には**約70%**まで増加すると予想されています。

政治・経済・文化の中心になっている「都市」では、過密、住宅不足、インフラの老朽化、大気汚染、ごみ問題、犯罪など、多くの課題が生じています。

今後も人々が住み続けられる都市にするためには、これらの課題を解消するまちづくりが求められます。

目標を達成するために

世界で取り組む主要内容

- すべての人が安全で安価な家に住み、公共交通機関など基本的なサービスを受けられるようにします。
- 災害による被災者や経済損失を大幅に減らします。

＼ 私たちに何ができるの？ /

- 地域の清掃や防災活動に参加する
- 自分が住んでいるまちの魅力を考える
- 公共交通を利用して支える
- 災害に対する備えをする（飲料水の備蓄、避難経路の確認など）



ゴール12. つくる責任 つかう責任

12 つくる責任 つかう責任

持続可能な生産消費形態を確保する

世界で起こっていること 生産から消費にいたる過程で食品の約**3分の1**が、廃棄物として捨てられています。

私たちは、大量のエネルギーを使って、大量にものを生産、消費して、大量のごみを捨てています。このままでは資源が枯渇し、環境の破壊・汚染も進んでいきます。また、まだ食べられるのに捨てられている食べ物「食品ロス」も大量に発生しています。

地球環境に、配慮した循環型社会をつくるために、3R※1活動の推進が求められています。

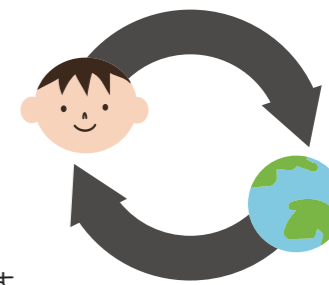
目標を達成するために

世界で取り組む主要内容

- 天然資源を適切に管理し、効率的に利用します。
- 一人当たりの食品廃棄物を半減させます。
- リデュース、リユース、リサイクルによって廃棄物の発生を大幅に減らします。

＼ 私たちに何ができるの？ /

- 不要なものは買わず、ごみを減らす
- 買った食材は使い切る、食べきる
- 買ったものは長く大切に使う
- エシカル消費※2を心掛ける



※1 Reduce(リデュース)(ごみを減らす)、Reuse(リユース)(繰り返し使う)、Recycle(リサイクル)(資源として再利用する)の頭文字をとったもの
 ※2 消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと。

ゴール13. 気候変動に具体的な対策を

13 気候変動に具体的な対策を



気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



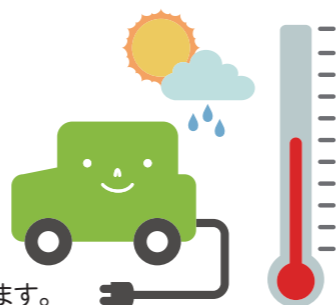
日本で起こっていること 過去30年間の日本の熱帯夜の平均日数は、1910年からの30年間の平均の約2.6倍となっています。

異常気象による被害や、温暖化による海面上昇により土地が失われたりしており、気候変動は、世界中に深刻な影響を及ぼしています。

先進国ではCO₂排出量の削減が進んでいますが、新興国では増加傾向にあり、世界全体では減少していません。温室効果ガスの削減は、国際的に解決すべき問題となっています。

＼ 私たちに何ができるの？ /

- クールビズ・ウォームビズ※1に取り組む
- カーボンニュートラル※2に取り組む



目標を達成するために 世界で取り組む主要内容

- すべての国で、気候変動による災害や自然災害への強靱性と適応力を強化します。
- 気候変動対策を、国の政策、戦略、計画に盛り込みます。
- 気候変動に関する教育、啓発、人的能力、制度機能を改善します。

※1 環境対策を目的とした衣服の選択を行うことで、過度な冷暖房に頼らない、過ごしやすいビジネススタイルのこと。
 ※2 温室効果ガスの排出量と吸収量・除去量を均衡させること。

ゴール14. 海の豊かさを守ろう

14 海の豊かさを守る



持続可能な開発のための海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



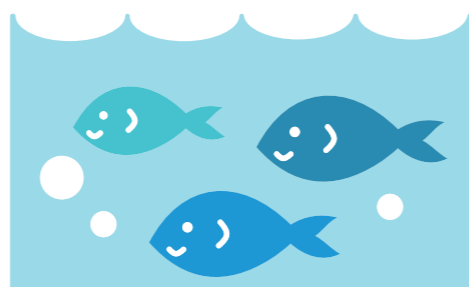
世界で起こっていること プラスチックゴミが年間900万～1400万トン、海に流れ出ています。(2016年時点)

海洋汚染や海の生態系にも悪影響を及ぼすプラスチックゴミが増え続けています。また、乱獲によって、絶滅の危機に瀕する水産資源が増えています。

海の多様性が失われることは、私たちの食卓に魚が届かなくなるだけではなく、水質の悪化や海岸の浸食にもつながるといわれており、世界と連携した取組が急がれています。

＼ 私たちに何ができるの？ /

- マイボトルを使用し、ペットボトルやストローの使用を減らす
- 海や河川の清掃活動に参加する
- 海の働きや海洋生物について調べる



目標を達成するために 世界で取り組む主要内容

- あらゆる海洋汚染を防止し、大幅に削減します。
- 海洋及び沿岸の生態系を回復します。
- 水産資源回復のため、漁獲を効果的に規制します。

ゴール15. 陸の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守る



陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



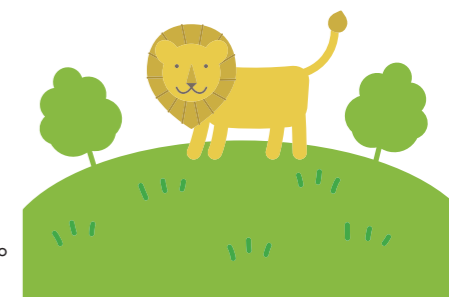
世界で起こっていること 毎年1,000万haの森林が失われ、今後数十年で約4万種の動植物が絶滅の危機に瀕すると予測されています。

世界の森林は減少を続けており、特に、南アメリカやアフリカなどの途上国では、違法な森林伐採や密漁で多くの野生生物が絶滅の危機に瀕しています。

ほ乳類の27%、両生類の41%、針葉樹の34%などが絶滅危惧種に指定されており、これからも陸からの恩恵を受けるためにも、陸の豊かさを守ることが求められています。

＼ 私たちに何ができるの？ /

- 地域に生息する生き物を観察する
- 植林活動や森づくりに参加する
- 地球環境に配慮した製品を選ぶ



目標を達成するために 世界で取り組む主要内容

- 陸の生態系を保全・回復し、持続可能な利用ができるようにします。
- 森林の減少を阻止し、劣化した森林を回復します。
- 絶滅危惧種の保護や外来種の侵入防止など、生物多様性の損失を阻止します。

ゴール16. 平和と公正をすべての人に

16 平和と公正をすべての人に



持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



世界で起こっていること 母国を離れ避難生活を送る「難民」の数は、世界中で8,930万人とされています。(2021年時点)

紛争やテロリズム、組織犯罪による犯行や暴行、虐待など、世の中には様々な暴力があります。誰もが安心して暮らすためには、暴力や虐待のない平和な社会づくり、法によって守られる公正な社会づくりが求められます。

また先進国でも途上国でも、政治の汚職や不正が相次ぎ、政治の透明性や言論の自由の普及も重要な課題となっています。

＼ 私たちに何ができるの？ /

- 世界の現状や動向を調べる
- 国際的な紛争問題に関心を持つ
- 投票など、積極的に政治に参加する



目標を達成するために 世界で取り組む主要内容

- あらゆる暴力や、暴力による死亡率を大幅に減らします。
- 子どもへの虐待、搾取、人身売買、暴力、拷問を撲滅します。
- すべての人が平等に司法を利用できるようにします。

ゴール17. パートナーシップで目標を達成しよう

17



持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



日本で起こっていること

SDGs達成にむけて取組を推進している自治体は、約70.6%となっています。(令和4年SDGsに関する全国アンケート調査より)

SDGsは、世界中の国が協力し合わなければ達成することはできません。途上国においては、資金、技術、設備などが十分でないため、先進国からの資金や知術の支援が必要とされています。

また、国と国だけでなく、世界中の企業、団体、個人、NPOなど様々な立場の人がパートナーシップを組み、参加することが大切です。

＼ 私たちに何ができるの？ /

- 家族や友人とSDGsについて話し合う
- SDGsアクション宣言をする
- SDGsの達成に向けて頑張っている企業を応援する
- SDGsに関するイベントなどに参加する



目標を達成するために

世界で取り組む主な内容

- 各国は持続可能な開発のために予算を使い、先進国は途上国に資金援助します。
- 途上国の輸出を大幅に増加させます。
- 持続可能な開発のための政策の整合性を強化します。
- 公的、官民、市民社会のパートナーシップを推進します。

阪南市SDGsのロゴ・デザインについて

阪南市がSDGs達成のために、地域資源を活かしたカーボンニュートラルの取組として、その中心となるお茶とアマモがモチーフとなっています。

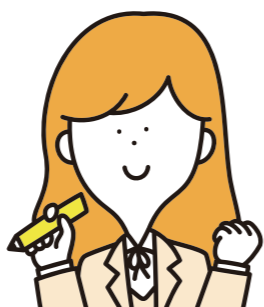
多くの人々が関わり、阪南市の自然や文化、未来に向けた新たな取組を地域の人々で支え、繋がり、守り続けていく。

人々が協力し地域や自然を守る姿と、未来への希望を表現しています。



共創による新しい価値の創造
HANNAN
SDGs未来都市

私たちの未来のために、今から始めよう!



未来に向けて、今日からできるSDGs

SDGsの17ゴールの内容や、阪南市の取組について紹介してきましたが、SDGsに対する理解は深まったでしょうか？

SDGsは2030年に向けて、世界で取り組む目標です。世界の変化は私たち一人ひとりの行動から始まります。

皆さんは、2030年にどのような世界になってほしいと思いますか？自分たちにどんなことができるのか考え、書き出してみましよう。



わたしの『SDGs宣言』

参考文献

- ・持続可能な開発目標(SDGs)報告2022(国際連合広報センター)
- ・ユニセフの主な活動分野|教育(公益社団法人日本ユニセフ協会)
- ・Global Connectivity Report 2022(国際電気通信連合(ITU))
- ・世界の都市人口の展望(国際連合広報センター)
- ・グローバルレポート2019(国際連合広報センター)
- ・世界の雇用及び社会の見通し:動向編2020年版(国際労働機関)
- ・持続可能な世界への第一歩 SDGs CLUB(公益社団法人日本ユニセフ協会)
- ・グローバル・トレンドズ・レポート 2021(国連難民高等弁務官事務所)